

USHA Japan 第21回議事録

2021年3月27日(土) 16:00~17:00

場所: Zoom 会議

出席者: 小野、Taranidhi Lohani、井上、富永、Parkash Acharya、橋本、金子、滝井(敬称略)

報告

1. プロジェクトチームからの活動報告

外部協賛助成 (井上常務理事): 前回より進捗なし。

情報・広報 : Purushottam 会員より進捗報告なし

2. ネパール情報および草の根支援からの報告

・ネパール情報(Parkash 顧問)

先月より大きな変化はなし。入国制限が続き合格者や就職内定者についてはビザ申請ができず、制限解除の状況を見て手続き実施予定。30人程待機者がいるため、申請は個々の状況にあわせて順次行うこととし、ビザが下りればパルカス顧問も同行し来日を計画している。国内での事前準備やハナミズキの活動は順調に実施。

ネパール国内のコロナ状況は少し落ち着きをみせていたが、近隣国インドの感染が再拡大しており、ネパールも今後影響を受け再度ロックダウンや制限強化の可能性あり。

・草の根支援からの報告(富永会員)

4月10日に Dogwood 事務所へ草の根支援チームリーダ代行の富永理事と井村事務長および会長が訪問し、関係強化のための覚書を作成予定で、今後の活動詳細についても検討する。パルカス顧問も可能であればオンラインにて参加予定。

3. その他の報告

特記事項なし

4. 審議

○本会ニュースレター刊行について (小野会長)

事務局にて作成、メールにて役員に確認依頼を実施。役員確認次第会員へ配信予定。

○ネパールの地方在住の貧困学生への勤学支援(小野会長)

Parkash 顧問から提案について前向きに支援検討を行う。現在の資金状況から単独の支援から始め基盤を作ることで今後規模を広げていく。役員賛同を得れば、今後支援方法や支援対象者あるいは公共施設の選定を Parkash 顧問からの支援を得て行う予定。

Q. 支援対象の候補者や対象者はすでに把握しているか

A. 現段階では実際プロジェクトができるか不明のため把握はしていない。ハナミズキですでに学習を始めている500人は対象外とし、強い意思があるが資金がなく勉強ができない地方在住の若者あるいは施設を選定、まずはネット環境を整えることで支援を行いたい。(小野、Prakash)

C. ネット環境を整えることができれば、一人だけではなく複数人の学習支援も可能。

C. USHA Japan 活動は当初は日本にいるネパール人学生を対象として検討していたが、実情は学生個々がバイトなど自助生活を行い、支援の輪が広がらなかった。今後は“学生”と支援の対象を狭域とせず、“ネパールから日本へ来る学ぶ意思のある人材”に広げ、特定技能習得など可能な支援を続けたい。(小野)

5. その他

・4月からのタラ副会長の活動について、職場事情により役員としての活動が難しい可能性あり。次回会議にて情報共有予定。

次回会議予定 4月24日(土)15:00~16:00